



巻頭言

トメ・ピレス『東方諸国記』に寄せて



琉球大学附属図書館長 高良倉吉

1512年、新しく「発見」されたアジアの地で、一旗揚げようとの野心を抱く一人のポルトガル人、トメ・ピレスがマラッカにやってきた。その前年の1511年、東南アジアの国際貿易センターであったマラッカは、ポルトガル艦隊に征服されたばかりであった。トメ・ピレスの野心は実現せず、やがて彼は異国の土に眠ることになる。

しかし、彼は歴史に対して大きな貢献を果たす。マラッカ滞在中に多くの情報をあつめ、「紅海から中国人の国までを扱う東洋の記述」と題する地理書をまとめたのである。この書を彼は帰国後、ポルトガル国王に献するつもりだったようであるが、果たせなかった。彼の著書は印刷もされず、いわば幻の書として歴史の闇に埋もれていた。

だが、関係者の努力により、ピレスの書の良質の写本がパリの国民議会図書館で確認された。古典ポルトガル語を解読できる4名の日本人研究者（生田滋・池上岑夫・加藤栄一・長岡新治郎）はパリ写本の翻訳に取り組み、ついに幻の書を日本に紹介してくれた。「大航海時代叢書」シリーズVとして出版されたこの本は『東方諸国記』と題され、1966年に東京の岩波書店から出版された。

私はこの日本語訳を手し、東南アジア各地を何度も旅したことがある。特に、ピレスがこの本を執筆したマラッカ（現在はマレーシアの一州）には数多く出向いた。なぜ、そうしたのか。

『東方諸国記』においてピレスは、独立した節をわざわざ準備して、「レケオ(琉球)人の島」について述べているからだ。マラッカの地で、「レケオ人」たちがどのように活動していたかを紹介しているからだ。ピレスを通じて、マラッカに刻まれた琉球史を見つけるために、「私の旅」を繰り返す必要があったのである。

(たから くらよし：法文学部教授・琉球アジア文化 琉球史)

目次

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1) 巻頭言 | 4) 「これからの図書館を考える」
附属図書館ワークショップを開催 |
| 2) 「第4回びぶりお文学賞」を発表 | 5) ジャパンナレッジが利用可能になりました |
| 3) 三館合同企画展「宝庫からのメッセージ
ー琉球・沖縄の貴重資料」 | 6-7) 図書館トピックス |
| | 8) お知らせ |

「第4回びぶりお文学賞」を発表！！



「第4回琉球大学びぶりお文学賞」は、平成22年10月31日に応募が締め切られ、1年次～4年次の学生から14編の応募がありました。今回は昨年同様の応募数でしたが、全体的にレベルの高い応募作品が集まりました。

12月6日に選考会を行い、一次選考通過の7作品について慎重な選考を行った結果、受賞作、佳作は下記の作品に決定しました。

受賞作	爪探し	小山響平（理学部物質地球科学科物理系3年）
佳作	冬瓜（スブイ）	玉那覇浩規（法文学部総合社会システム学科3年次）
	青年BBS	華井けい（法文学部国際言語文化学科英語文化コース夜間主2年次）
	歓喜の挽歌	菅谷聡（教育学部島嶼文化教育コース4年次）

授賞式は、平成23年1月27日に附属図書館会議室で行われ、岩政学長から受賞者に賞状と副賞が授与されました。授賞式の後、受賞者と大城貞俊選考委員、図書館職員を交えた懇談会が行われ、受賞の抱負や書く事への思いなど語り合いました。作品は、作品集として冊子体にして発行され、また図書館ホームページでも公開予定です。



第4回琉球大学びぶりお文学賞受賞者のみなさん
右から小山さん、玉那覇さん、菅谷さん、華井さん
(平成23年1月27日授賞式)

選考委員

山里勝己（法文学部教授）
喜納育江（法文学部准教授）
大城貞俊（教育学部准教授）

「第4回琉球大学びぶりお文学賞」を受賞して

小山響平（理学部・物質地球科学科物理系・3年）



大変ありがたいことに、このたび、『爪探し』が第4回びぶりお文学賞をいただきました。

受賞を電話でつたえられたとき、私は「これを三度目の正直と言うんだな」と思いました。その電話の主である図書館の松原さんにもそのように言われましたし、後に連絡した両親や友人たちからも同じ言葉を聞きました。というのも、私は第2回と第3回のびぶりお文学賞にも応募しており、『縫い目のないシャツ』と『鉄砲百合の骨』という題名で、それぞれ佳作をいただきました。つまり見ようによっては2回、受賞を逃していたのです。今回の受賞は言葉どおりの、三度目の正直となりました。

さて、受賞の知らせを聞いてひととおりのうかれたいと、自分のこれまでの作品と『爪探し』を読み比べてみました。大変疑わしいとは思いますが、文章については上達が見られました。ただ、文章がなめらかになったのは、あくまでも結果なのです。

『爪探し』は、これまでの2作品よりも意識的にテーマの絞り込みをおこないました。もっともこれは、過去のびぶりお文学賞の配布冊子にも載せられている、選考委員の方々の講評を参考にしたのです。筋や構成が煩雑にならないよう心がけ、また物語の重要なモチーフである「爪」をこまめに登場させる。どうすれば読者に作品の意図をよりくみ取ってもらえるのかを、常に念頭に置いたのです。意識的なテーマの絞り込みは、読者に向けたものでしたが、書く側にしても物語を作る際の目安になりました。筋立てや登場人物の振る舞いが、物語にふさわしいかを客観的に判断するのは、私にとってかなり難しいことでしたが、作品のテーマという背骨を意識することで、その判断に手がかりができたのです。そのため筆が進みやすくなり、早く書けるので考察を重ねられ、改良点をよく見つけられるので、さらに筆が進む。という、推敲に関して

とても良い循環が生まれたのです。

『爪探し』を書いたとき、物語のテーマを明確に設定し、注意を払うことの強力さを実感しました。しばらくは、この手法を使うことになりそうですが、同時にここからどのように抜け出すかが課題ともなりました。

さて、さんざんテーマについて書きましたが『爪探し』のテーマそれ自体に言及するのは、私がやるべき事ではないでしょうし、紙幅も足りません。

末筆となりましたが、来年度も琉大生の皆様が奮って応募され、びぶりお文学賞が一層盛り上がるようお祈りいたします。

琉球大学びぶりお文学賞は、琉球大学が基本目標として掲げる「地域及び広く社会に貢献する人材」「意欲と自己実現力を有する人材」育成の一環として、言語力（読む力、書く力）を向上させ、想像力、表現力、創造力豊かな学生を育成するとともに、文学の啓蒙活動を高め、地域社会における文学・文化活動のリーダーを輩出することを目的に琉球大学に在学する学生を対象に平成19年度に設けられました。

三館合同企画展

「宝庫からのメッセージ～琉球・沖縄の貴重資料」を開催



附属図書館は、三館合同企画展「宝庫からのメッセージ—琉球・沖縄の貴重資料」を2010年11月30日から12月12日まで沖縄県立博物館・美術館の県民ギャラリーで開催しました。

平成22年度は、琉球大学附属図書館の学外貴重資料展が10回目となり、また沖縄県立図書館が開館100周年、沖縄県立博物館・美術館が開館3周年とそれぞれ節目の年を迎えたことからこれを記念して、琉球大学附属図書館の呼びかけにより、各機関が琉球・沖縄関係の貴重資料を持ち寄り、合同企画展を実施したものです。今回は、合同企画展ということもあり、琉球の「歴史」、「精神文化」、「文物」をテーマに展示資料を厳選し、国指定重要文化財3点を含む89点と明治、大正、昭和初期の写真パネルを県民ギャラリー3部屋を使って展示しました。

開催初日には、多くの報道機関が取材に訪れ、複数の新聞やテレビで当企画展が紹介されました。期間中、県内外から約1500の見学者が訪れ、会場で実施したアンケートでは、充実した展示内容に感動した、今後も貴重資料の展示会開催を希望する等といった意見が多数寄せられました。

また展示会にあわせて、本学附属図書館研究開発室員でもある法文学部大城學教授による特別講演会「學先生が語る琉球芸能—組踊りについて考える—」を県立博物館講堂でおこない、多数の聴衆が組踊研究の専門家でもある講師の琉球芸能に関する興味深い話に聞きいっていました。



●各館の館長のテープカットで、オープニングを飾った



●展示品に興味深く眺める人などでにぎわう会場



●講演会会場





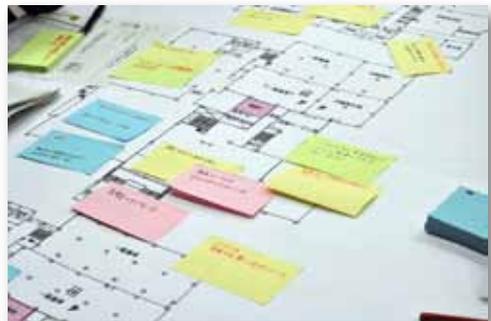
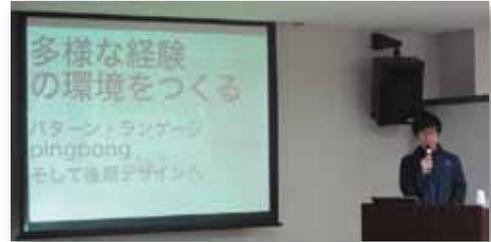
「これからの図書館を考える」 附属図書館ワークショップを開催しました

「図書館で○○○できればいいのに!」「こんな図書館があれば通うのに!」そんなことを考えたことはありませんか?これまで、そんな想いを直接伝える機会はありませんでした。

2011年2月に開催された附属図書館ワークショップ「これからの図書館を考える」は、学生・教員・職員と一緒に「新しい」図書館を考える、そんな場になりました。ワークショップは2部構成で、第1部では図書館のような公共空間の空間デザインはどのように行われるべきなのかという講演と九州大学附属図書館・大阪大学附属図書館・キハラ株式会社より3つの事例報告をいただきました。第2部では、学生・教員・職員混合でグループディスカッションを行い、図書館の図面を見ながら問題点や改善点について話し合いました。

さまざまな立場の参加者がフラットに話し合うことで、これまでになかった視点でのアイデアなどが生まれました。今回のワークショップの成果を今後の図書館運営に活用していくのは勿論のこと、今後も継続して学生のみなさんと意見を交換できるような場を設ける予定です。

一緒によりよい図書館・大学を考え、作っていきましょう!



学習環境に関するアンケート ご協力ありがとうございました

2010年10月から2011年1月にかけて、学習環境に関するWebアンケートを実施しました。総計で1000を超える回答をいただいています。ご協力ありがとうございます。このアンケートは、図書館に限らず大学全体の学習環境に関して調査いたしました、みなさんの大学生活がより充実したものになるよう活用していきます。

アンケートの結果については、附属図書館ホームページで公開しておりますので、是非ご覧になってください。

ジャパンナレッジが利用できるようになりました♪



オンライン百科事典「ジャパンナレッジ」が利用できるようになりました！

ジャパンナレッジは、日本大百科全書（ニッポニカ）・現代用語の基礎知識・東洋文庫・会社四季報など40前後のさまざまな情報源を一括して検索できるデータベースです。

ご利用は附属図書館のホームページの「データベース一覧」からどうぞ。

学習だけでなく、普段の生活や就職活動にも役立つ情報が満載です。是非、ご利用ください！

※ジャパンナレッジのご利用は学内からのみ可能となっています。

※学内で一度に利用できるのは1人となっていますので、もしログインできない場合は時間を置いてアクセスしてください。

企画展「琉球列島の生物多様性とその保全」を開催



附属図書館では、企画展「琉球列島の生物多様性とその保全」を11月4日から12月17日まで開催しました。

2010年は、国連が定めた生物多様性年にあたり、日本が議長国となり、名古屋で「COP10」が開催され、ニュースや新聞などで「生物多様性」や「環境保全」という言葉を目にする機会が多くなりました。本企画展では、この機会に、学生をはじめとしたみなさんに、沖縄の生物多様性やその生息環境の保全について知り、それらを身近な問題として感じてもらいたいという趣旨の下、理学部海洋自然科学科の教員の協力を得て、開催の運びとなりました。



会場となった附属図書館カウンター前の情報ラウンジでは、関連図書を並べた他、沖縄のサンゴ礁やマングローブ等の自然環境、昆虫や動物等の生物の写真四十点余りをパネルで展示しました。また、沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究により日本学士院エジンバラ公賞を受賞された西平守孝博士、及び沖縄の植物学において多大な貢献をされた初島住彦博士の関連展示も併せて行われました。

電子マネーEdyによるILL料金の支払いが可能に

附属図書館では、11月からILL（図書館間相互貸借）料金の支払いに、新たに電子マネーEdyを導入しました。

ILLで他館に依頼した複写物等は、図書館サービスカウンターで利用者が現金払いで受領していましたが、現金の場合は平日の午後五時までの取扱いのため、図書館開館中でも受領することができず不便でした。今回、利用者サービスの向上を図り、国立情報学研究所のILL文献複写等相殺サービスを利用して依頼したILLについては、Edyで支払う場合、夜間・休日を含め開館時間内であればいつでも受領が可能となりました。

ただし、現金での支払は従来通り平日8:30～17:00までですのでご注意ください。



閲覧機のイス用に座布団の貸出を始めました

閲覧機のイスが硬く、長時間の勉強に向かないというご意見を受け、少しでも座り心地を改善させるために下記のとおり座布団を貸し出すことにしました。

ご希望の方は、カウンター職員に申し出て下さい。

なお、数に限りがあり、貸し出しできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



貸出時間：開館時間中

貸出期限：貸出日限り

貸出場所：本館2階カウンター

貸出方法：カウンターにおいて、貸出票に必要事項を記入して、カウンター職員から貸出

返却方法：退館時にカウンター職員に返却

図書館カウンター前に英語多読コーナーを新設しました！

子供向けの本や映画など、楽しくすらすら読める英語の多読用図書をそろえています。CDも付いており貸出しも可能です。英語はたくさん読むことで力がつきます。また、レベルが0から6までありますので、自分にあったレベルを選ぶこともでき、且つ楽しく読むことで継続性も期待できます。

英語力をアップしたい方や、留学を希望する学生さんにもお勧めです。ぜひご利用ください！



グループ学習室の机や椅子が新しくなりました！

机が可動式になり、より自由な形でのグループ学習が可能です。

資料を持ち寄せての学習はもちろん、発表や模擬授業の練習などにも利用しやすくなりました。

グループ学習室 A は無線 LAN も利用できるのです、パソコンを持ち込んで情報収集しながら学習できます！

どんどん活用してください。

詳しい利用方法は図書館カウンターまでお尋ねください。



図書館見学等 平成 22 年 10 月～ 23 年 3 月

訪問日	見学者
11月9日	南風原高等学校学生 45名図書館見学
11月16日	首里東高等学校学生 133名図書館見学
11月16日～18日	インターンシップ受入(知念高等学校2名)

出版・報道

放送・発行日	番組・書名・展示会名	提供資料
2010年9月	『沖縄から見える歴史風景』（新城俊昭著）	「琉球女性の手の刺青」（フル文庫より）
2010年9月14日～12月7日	展示会「海のクロスロード・八重山」沖縄県立博物館・美術館	「八重山島諸座御規模帳」ほか15点（宮良殿内文庫より）
2010年10月1日	週刊『江戸』41号 デアゴスティーニ・ジャパン	「琉球人行列図錦絵」
2009年11月5日	『南西諸島資料集 第四巻』	「渡琉日記」(伊波普猷文庫より)
2010年12月	<江戸>の人と身分シリーズ 第6巻『身分論をひろげる』	「琉球風俗図」より一部
2011年2月20日	NHK ETV 特集「深く掘れ 己の胸中の泉 “沖縄学の眼差し”」	仲宗根政善・伊波普猷・仲原善忠関係資料 10点
2011年2月27日	琉球放送「ウチナー紀聞」	「砂糖の製糖」（明治期琉球写真帳より）



2011年度 開館カレンダー

本館

開館時間 通常期：月～金(黒) (Black) 8:30～22:00
休業期：月～金(青) (Blue) 8:30～17:00

土・日・祝(緑) (Green) 10:00～20:00
土・日・祝(赤) (Red) 休館 (Close)

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

医学部分館

開館時間 通常期：月～金(黒) (Black) 8:30～22:00
休業期：月～金(黒) (Black) 8:30～22:00

土・日・祝(黒) (Black) 8:30～22:00
土・日・祝(赤) (Red) 休館 (Close)

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

平成23年度 新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを行います。
充実した大学生活をおくるために、図書館の活用法をガイドしますので、ぜひご参加ください！

開催日

4月7日(木)～20日(水)の毎日(土・日を除く)

開催時間

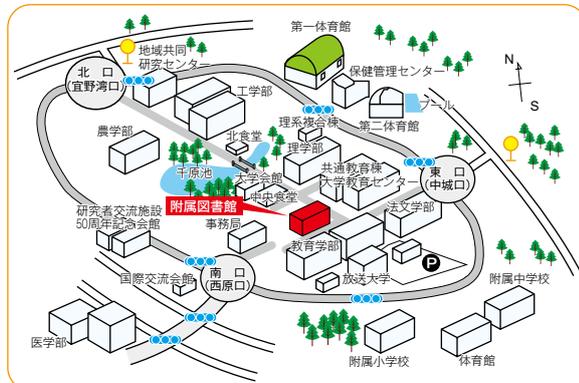
午前の部 12:15～12:45
午後の部 16:30～17:00

集合場所

本館カウンター前

内容

図書館ツアー
※ご希望に応じてツアーの後、図書の探し方等のオリエンテーションも準備しております！



予約等は要りません。3分前に集合してください。
問合せ先 → 情報リテラシー係 (Tel: 098-895-8168)

琉球大学附属図書館報「びぶりお」第44巻第1号(通巻第154号)

発行日：2011年(平成23年)4月1日

発行：琉球大学附属図書館

編集：びぶりお編集委員会

〒904-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL: 098-895-8167

E-Mail: kikaku@lib.u-ryukyuu.ac.jp